



# 『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

## 歯に衣(きぬ)着せぬ・暖簾(のれん)に腕押し

【歯に衣着せぬ】◇思っていること、言いたいことを素直に言うこと。

・「衣着せぬ」は、飾らない、の意。

【暖簾に腕押し】◇少しも手ごたえがなく、張り合いのないことのとえ。



平成22年度の予算を審議する議会が3月26日に閉会しました。今号は数字の羅列で申し訳ありませんが、予算関連のご報告をいたします。

今年度の一般会計の総額は1604億6千万円で、前年度と比較して96億6千万円の増となっています。何が増えたかと言いますと、例のバラマキとも言われている「子供手当」としての国からの交付金が増えたのです。

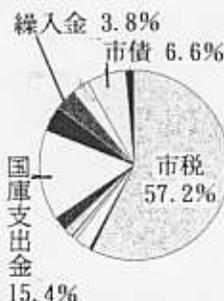
その他の予算として、国民健康保険や下水道、介護保険等の特別会計が1189億9千万円、企業会計といわれる中央卸売市場と病院会計が158億8千万円余りとなり、合計が2953億4千万円の当初予算が承認されました。

「当初予算」とは、年度初めに編成する年間の総予算のことで、議会の度に予算に過不足が生じた場合に「補正予算」が組まれます。通常、決算の際は当初予算より大きな数字になっています。

歳入(収入)の約60%を占める市税は、3.3%減の918億円です。その不足部分を補うために、貯金を取り崩した「繰り入れ金」で61億円。市債が106億円を予算計上しました。

数字ばかりで面白くないと思いますが、簡単に言うと「入ってくるお金が減って、貯金を取り崩したり借金を増やした」のです。

歳出(支出)では、道路関係等の土木費や教育費が減り、福祉関連の民生費が106億円も前年比増となっています。



毎年の3月議会は「予算議会」で、一般質問に代わって議案質疑という名前になります。そして、何よりも通常の議会と違うのは「予算特別委員会」を設置して、各会派から3名に一人の割合で選出した14名の委員により4日間の審議を行います。3日間質疑し、4日目は「賛成」「反対」



の討論を述べます。質問時間は会派の人数により割り当てられ、4人の議員がいる新風から出た私は39分の持ち時間でした。この39分には市側の答弁時間は含まれません。質問を整理しておかないととても足りませんが『歯に衣着せぬ』質問をして有効に使いました。



ちなみに、一番質問時間の多い会派は10人の議員がいて、3名の委員が出ている公明党で84分でした。以下、国民健康保険関係のご報告です。

### 《議案第24号 船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例案について》

市全体の人口約61万人のうち約16万人が加入している国民健康保険の条例が地方税法改正に伴い変更されます。国民健康保険料には「所得割」と「均等割」があり、今回は均等割の保険料に変更がありました。主なものは次の通りです。

#### 1. 保険料率の変更 均等割額を9500円引き上げる。

39歳以下と65歳から74歳の方………21,950円→31,450円

40歳から64歳の方(介護第2号被保険者) ……31,560円→41,060円

#### 2. 均等割軽減割合の変更 (軽減は所得と世帯人数により制限があります)

6割軽減→7割軽減に(下の4割、3割は軽減されない負担分)

(21,950円×4割=8,770円 < 31,450円×3割=9,420円)

(8,770円-9,420円=650円の増額)

4割軽減→5割軽減に(下の6割、5割は軽減されない負担分)

(21,950円×6割=13,160円 < 31,450円×5割=15,720円)

(13,160円-15,720円=2,560円の増額)

2割軽減→新規に追加しました。

(21,950円 < 31,450円×2割=25,150円)

(21,950円-25,150円=3,200円の増額)

※軽減割合が大きくなっても実際は増額となります。

#### 3. 保険料限度額の変更

限度額を4万円引き上げる………69万円→73万円

近隣8市の40歳における一人当たりの保険料(108,247円)を比較すると、野田市、我孫子市、流山市、柏市、松戸市、市川市よりも低額で、鎌ヶ谷市と浦安市よりは多くなっています。



私は、年々増大する医療費のために保険料を上げざるを得ないのだから、医療費を増やさない手段を考えるべきで「少々の怪我や病気で医療機関へ行くことは我慢するように、一案として、車の任意保険と同様に、年間を通じて保険証を使わなかったら保険料を減額することも必要ではないか、医療費削減にもなる」と再び質問しましたが『暖簾に腕押し』の答弁でした。

